



®環境省

エコアクション21

認証番号0002140

環境経営レポート

エコアクション21



鈴与エコプロダクツ株式会社

2023年度版

(2022年9月1日～2023年8月31日)

2024年 2月 9日作成

目次

I	事業の概要	… 3
II	対象範囲	… 11
III	環境経営方針	… 12
IV	環境経営目標	… 13
V	2023年度環境経営計画	… 15
VI	2023年度環境経営目標の実績	… 17
VII	2023年度活動結果の評価と2024年度環境経営計画	… 22
VIII	環境関連法規への違反・訴訟の有無	… 26
IX	環境上の緊急事態への準備及び対応	… 28
X	代表者による評価と今後の取り組み	… 30

I 事業の概要

(2023年8月31日現在)

1. 事業所名 鈴与エコプロダクツ株式会社

2. 住 所

袋井事業所

〒437-0005 静岡県袋井市見取1924-53

TEL : 0538-49-4040 FAX : 0538-49-4041

菊川事業所

〒437-1522 静岡県菊川市嶺田1813-5

TEL : 0537-73-8555 FAX:0537-73-8558

3. 代表者名 代表取締役社長 望月 英伸

4. 設立年月日 2004年7月9日

5. 資本金 90,000千円

6. 環境管理の責任者及び連絡先

【EA21委員長】 代表取締役社長 望月 英伸

連絡先 TEL 0538-49-4040 FAX 0538-49-4041

【袋井事業所】 環境管理責任者 袋井事業所長 根木 浩行

連絡先 TEL 0538-49-4040 FAX 0538-49-4041

【菊川事業所】 環境管理責任者 菊川事業所長 齋藤 博俊

連絡先 TEL 0537-73-8555 FAX 0537-73-8558

※ 環境活動推進体制組織図は別紙①の通り

7. 事業の内容

容器洗浄リユース事業 通い箱洗浄事業 再生プラスチック販売事業
産業廃棄物収集運搬及び中間処理業 ペットボトルリサイクル
一般廃棄物処理業(廃プラスチック破碎・洗浄)

8. 事業の規模（産業廃棄物処理業者向けガイドラインによる売上高記載区分C）

活動規模	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	1,230	1,173	1,278	1,367
従業員	人	72	73	71	69
床面積	m ²	5,091	5,091	5,091	12,198

※事業年度は9月～8月《2023年度は2022年9月～2023年8月》

※会社組織図は別紙②の通り

※【売上高の記載区分】売上高区分A:5億円未満 売上高区分B:5億円以上10億円未満 売上高区分C:10億円以上

9. 許可の内容

【袋井事業所】

- ・ 産業廃棄物処分業許可 許可番号:第02221172517号
 中間処分
 破砕処分－廃プラスチック類
 活性汚泥処分－廃アルカリ(pH7.0から8.6に限る)
 許可の年月日 2018年9月1日
 許可の有効年月日 2023年8月31日(更新手続中)
- ・ 産業廃棄物収集運搬業許可 許可番号:第02201172517号
 収集運搬(積替え及び保管行為を除く)
 廃プラスチック類(石綿含有廃棄物を除く)、廃アルカリ
 許可の年月日 2018年9月1日
 許可の有効年月日 2023年8月31日(更新手続中)

【菊川事業所】

- ・ 一般廃棄物処理施設設置 許可番号:環廃第44-9号
 許可の年月日 2004年4月23日
- ・ 一般廃棄物処理業 許可番号:菊生環第144号
 許可の年月日 2019年9月1日
 許可の有効年月日 2023年8月31日
- ・ GRS認証 認証番号:CU817152
 リサイクル原料の有効な追跡のための国際認証プログラム
 コントロールユニオンによる年1回の審査

10. 処理施設等の状況

【袋井事業所】

- | | |
|----------|----------------------------|
| ① 種類 | 破砕施設 |
| 廃棄物の種類 | 廃プラスチック類 |
| 処理能力 | 0.35トﾝ／時間 |
| 処理方式 | 一軸式スクリーン付破砕機により
ランダムに破砕 |
| 処理工程 | 別紙③の通り |
| ② 種類 | 活性汚泥処理施設 |
| 廃棄物の種類 | 廃アルカリ |
| 処理能力 | 4.4258トﾝ／時間 |
| 処理工程 | 別紙④の通り |
| ③ 収集運搬車両 | 10tウイング車 1台 |

【菊川事業所】

- | | |
|--------|-----------------|
| 種類 | 破砕施設（全て有価物扱い） |
| 廃棄物の種類 | 廃プラスチック(PETボトル) |
| 処理能力 | 1.0トﾝ／時間 |
| 処理方式 | 破砕 |
| 処理工程 | 別紙⑤の通り |

11. 産廃処理実績

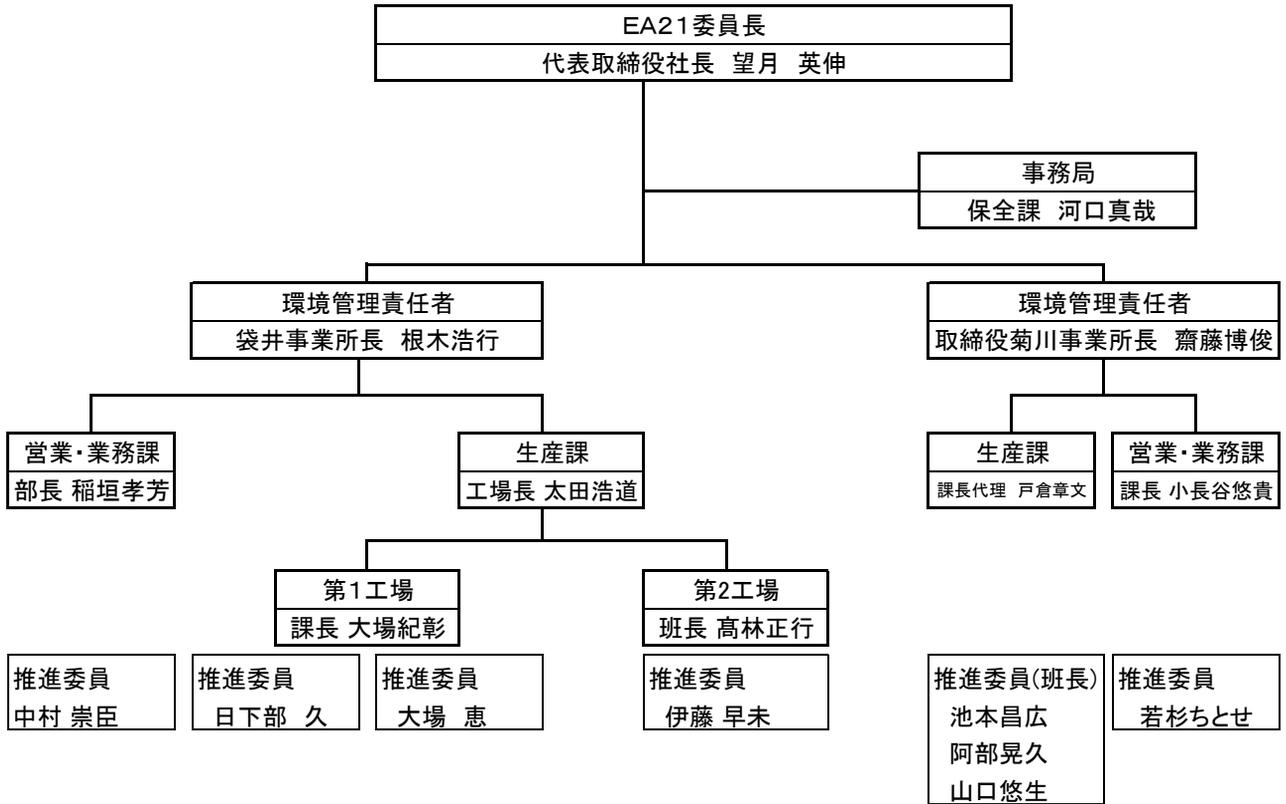
- | | | |
|------------|-----------|----------|
| 2023年度処理実績 | … 廃アルカリ | 32.87t |
| | … 廃プラスチック | 493.399t |
| 2023年度収運実績 | … 廃アルカリ | 32.87t |
- ※ 事業年度(9～8月)1年間における実績

12. 再生資源原料処理実績

- | | | |
|------------|-------------------|--------|
| 2023年度処理実績 | … 廃プラスチック(PETボトル) | 4,926t |
|------------|-------------------|--------|
- ※ 事業年度(9～8月)1年間における実績

環境活動推進体制組織図

2023年8月31日 現在

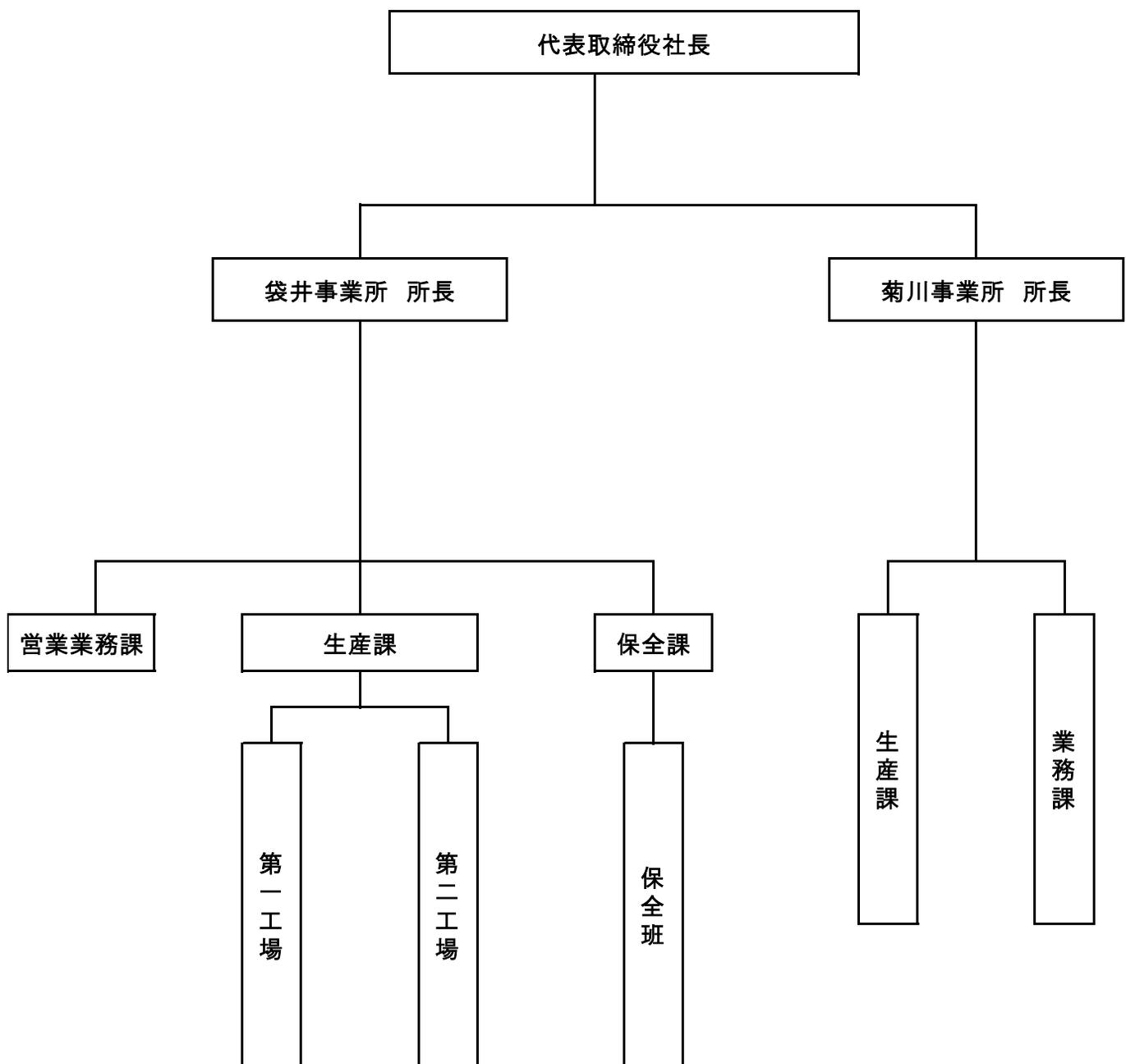


【環境管理組織における役割】

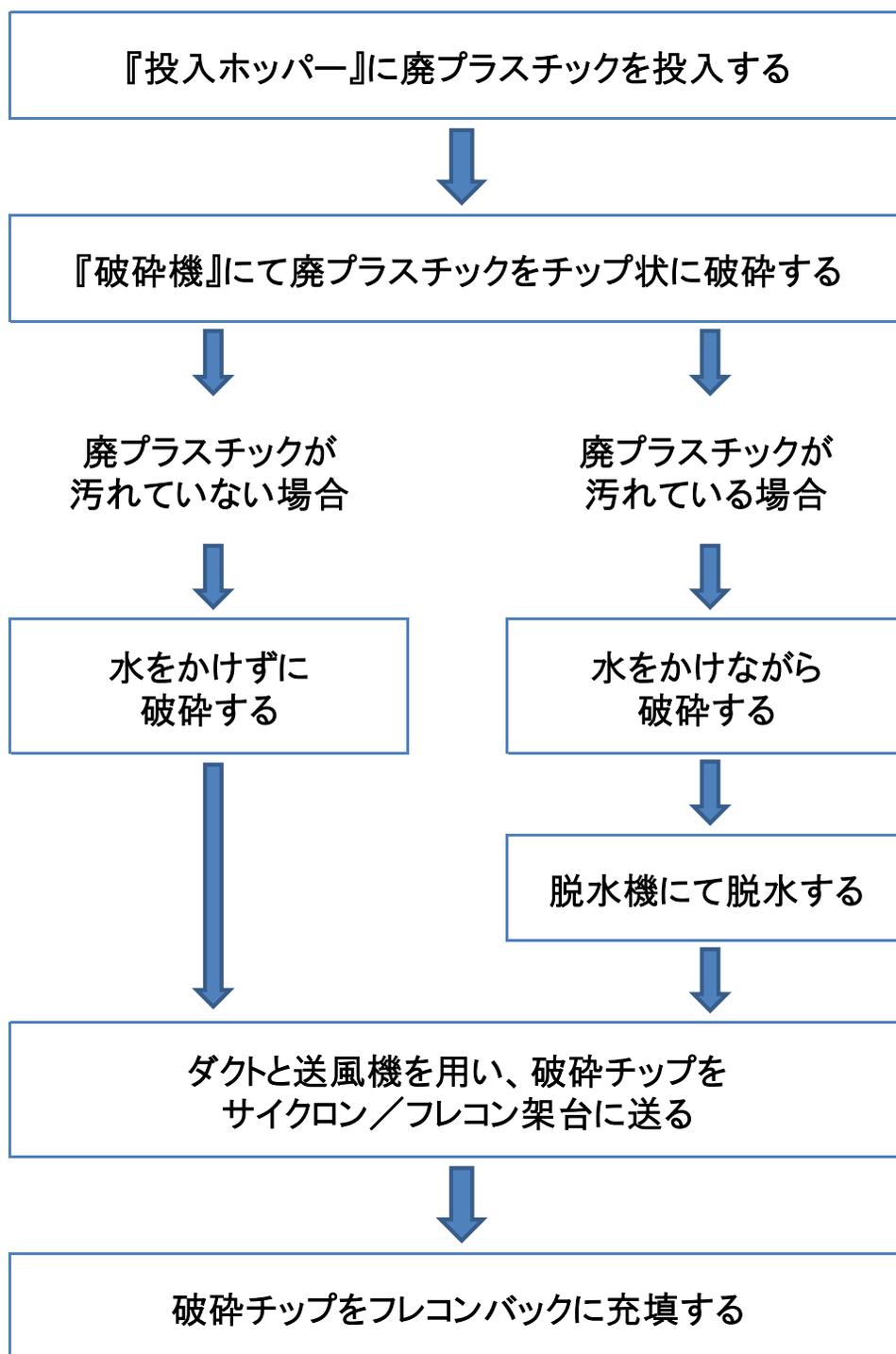
メンバー	役割	具体的内容
EA21委員長 代表取締役	[総責任を担う] 環境方針・基本理念の策定 環境管理責任者の任命 資源(人材・資金・技術)の準備 環境経営システムの見直し指示	環境方針・基本理念の策定・改定し社員に周知する。 環境管理責任者を任命する。 環境管理責任者から定期的に活動報告を受ける。 実施体制を構築し役割・責任・権限を明確にする。 月一回の定期パトロールを実施。 全体の評価と見直しを実施し各部門に指示を出す。
環境管理責任者	統括責任者の補佐、進捗管理、 PDCAサイクルの推進。	全体の進捗状況把握及び統括責任者への報告。及び環境管理担当者からの報告に基づく新たな施策の立案・上申。
環境管理担当者	環境管理目標・活動方針策定 環境経営推進会議の開催。 改訂版法規制のチェック。	各事業場の進捗状況把握及び環境管理責任者への報告。 結果の分析、方針に基づく新たな施策の提案。
事務局	環境管理責任者、環境管理担当 者を補佐し、文書・記録を管理す る。	活動状況チェック、強化週間の企画・スケジュール立案。 各部門のデータ取り纏め。
課長(班長)	課・班毎の活動責任者	活動実施、進捗状況把握、環境管理担当者へ結果報告。
推進委員	課長(班長)の補佐、PDCAサイク ルを推進する。	活動をより早く、より効果的に、全員で実施するために課長(班長)を サポートする。

鈴与エコプロダクツ(株)組織図

2023年8月31日現在



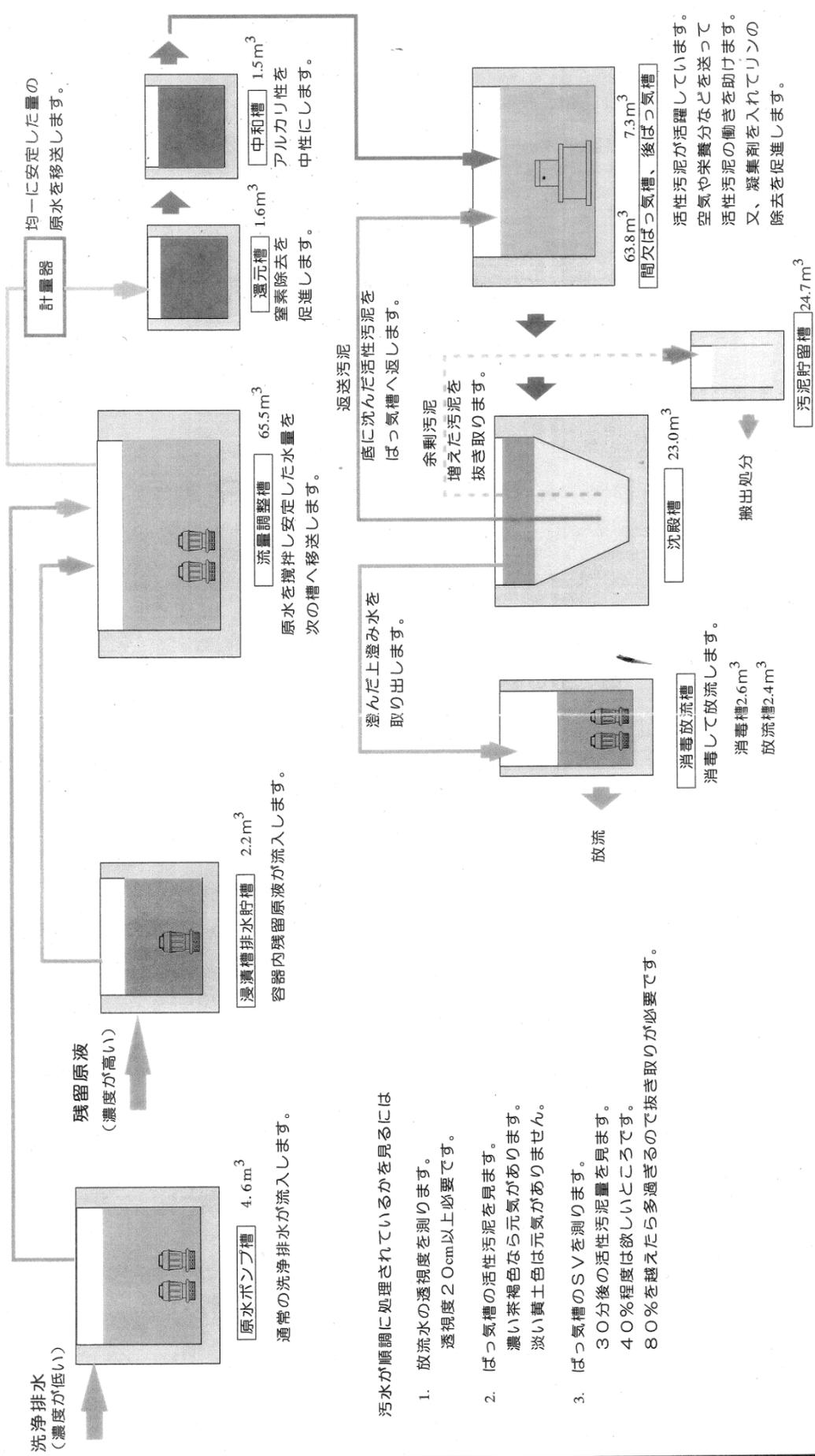
処理工程（袋井事業所）



別紙④ (袋井事業所)

排水処理フロー 簡略図

※槽名横の数字は槽容量です。



均一に安定した量の原水を移送します。

窒素除去を促進します。

アルカリ性を中性にします。

返送汚泥

選んだ上澄み水を取り出します。

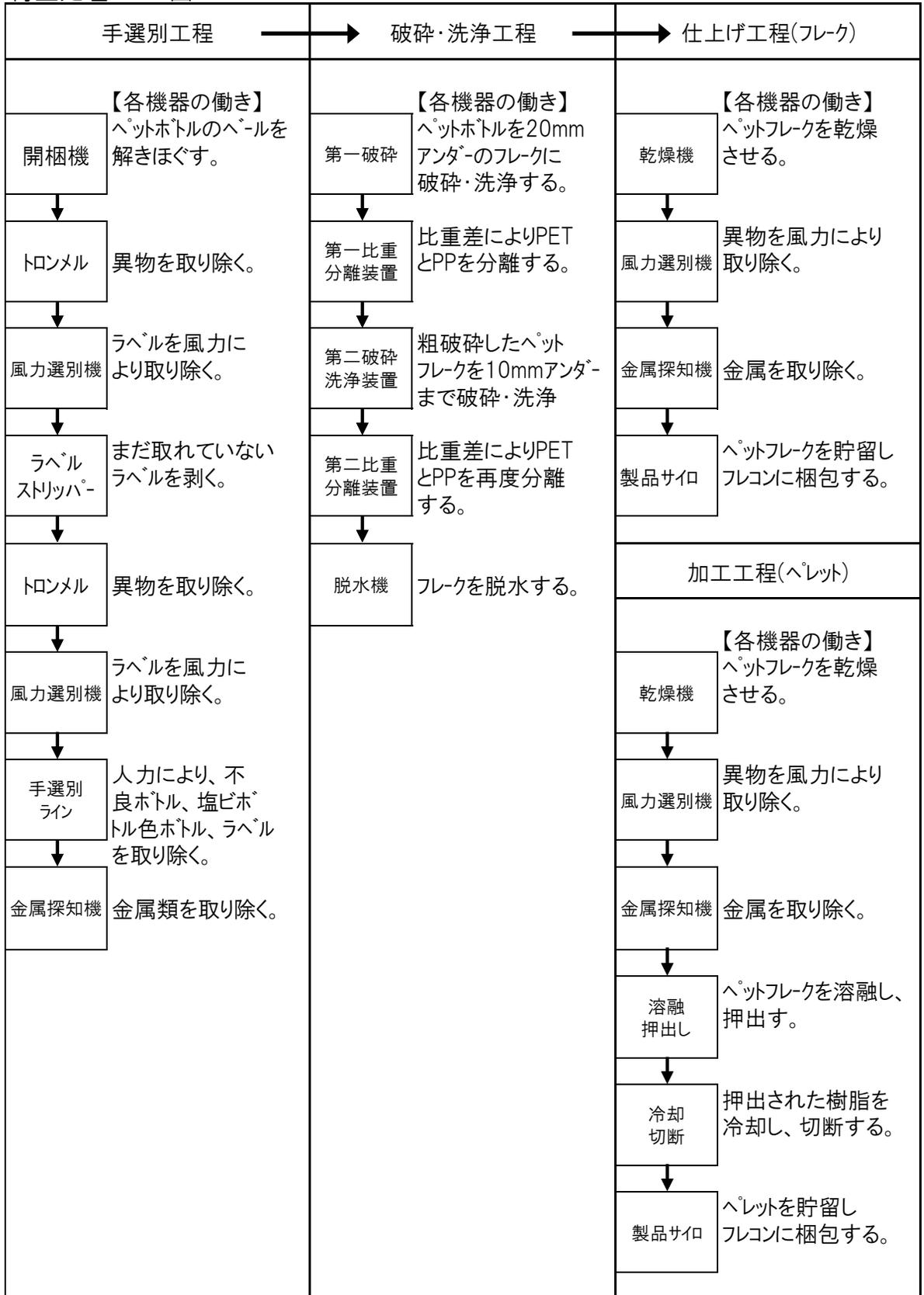
放流

汚水が順調に処理されているかを見るには

1. 放流水の透明度を測ります。透明度 20cm 以上必要です。
2. ばっ気槽の活性汚泥を見ます。濃い茶褐色なら元気があります。薄い黄土色は元気がありません。
3. ばっ気槽のSVを測ります。30分後の活性汚泥量を見ます。40%程度は欲しいところです。80%を越えたら多過ぎるので抜き取りが必要です。

処理工程（菊川事業所）

ペットボトル加工状況
再生処理フロー図



Ⅱ 対象範囲

1. 対象組織： 鈴与エコプロダクツ株式会社(全社で取得)
2. 対象活動： 容器洗浄リユース事業、通い箱洗浄事業、再生プラスチック販売事業、ペットボトルリサイクル産業廃棄物収集運搬及び中間処理業

袋井事業所



菊川事業所



Ⅲ 環境経営方針

＜基本理念＞

鈴与エコプロダクツ株式会社は、「もったいない」と「きれいに」を『かたち』にすることを使命とし、プラスチックのリユース・リサイクル事業を通じ、限りある資源の有効利用と二酸化炭素排出量削減に寄与し、地球環境の保全に社員が積極的に取組み「明日の地球のために働いている」ことに誇りと喜びを持てる企業を目指します。

＜環境方針＞

1. 環境関連法規ならびに締結した協定等を遵守し、社会の信頼に応える企業を目指します。
2. 事業の全領域に於いて環境負荷の低減と環境保全活動を以下の通り取組みます。
 - (1)省エネ(電気、化石燃料)推進により、プラスチック処理量当りの二酸化炭素排出量を削減します。
 - (2)分別の徹底によりプラスチック処理量当りの廃棄物排出量を削減します。
 - (3)作業効率アップと再利用水によるプラスチック処理量当りの水使用量を削減します。
 - (4)動植物に悪影響を及ぼさない為に化学物質規制に配慮して活動します。
3. プラスチック容器リユース及び高品質なりサイクル製品の製造販売を通じて循環型社会の形成に貢献します。
4. 環境コミュニケーションとして消費者団体、学生、近隣住民の見学を積極的に受け入れます。
5. 全従業員に環境方針及び必要事項を周知徹底し、全社一丸で取り組む体制を堅持します。

2013年 9月 1日 制定

2018年 9月 1日 改訂

鈴与エコプロダクツ株式会社

代表取締役社長 望月英伸

IV 環境経営目標(袋井事業所)

中期目標は以下の通りとする。

【年度は前年9月から年度末8月まで】

項目		単位	[基準年] 2023年度 実績	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標	
CO2 排出量 の削減	CO2 総排出量	kg-CO2	632,322 <100.0%>	675,266 <106.8%>	693,671 <109.7%>	724,345 <114.6%>	
	CO2 排出量削減	kg-CO2/ 本	0.367 <100.0%>	0.365 <99.5%>	0.356 <97.0%>	0.347 <94.5%>	
	電力 総使用量	kwh	631,210 <100.0%>	675,395 <107.0%>	694,331 <110.0%>	725,892 <115.0%>	
	電力 使用量削減	kwh/本	0.366 <100.0%>	0.365 <99.7%>	0.356 <97.3%>	0.347 <94.9%>	
	灯油 総使用量	L	80,299 <100.0%>	85,920 <107.0%>	88,329 <110.0%>	92,344 <115.0%>	
	灯油 使用量削減	CC/本	46.6 <100.0%>	46.4 <99.7%>	45.3 <97.3%>	44.2 <94.9%>	
	LPG 総使用量	kg	28,225 <100.0%>	30,201 <107.0%>	31,048 <110.0%>	32459 <115.0%>	
	LPG 使用量削減	g/本	16.4 <100.0%>	16.3 <99.7%>	15.9 <97.3%>	15.5 <94.9%>	
省資源	排水量 総使用量	L	46,096,210 <100.0%>	49,322,945 <107.0%>	50,705,831 <110.0%>	53,010,642 <115.0%>	
	排水量 使用量削減	L/本	26.74 <100.0%>	26.66 <99.7%>	26.00 <97.3%>	25.36 <94.9%>	
製品サービス 活動の 積極展開	容器取扱本数の増加	本	1,724,185 <100.0%>	1,850,000 <107.3%>	1950000 <113.1%>	2090000 <121.2%>	
	容器リユース本数の増加	本	1,344,692 <100.0%>	1,440,000 <107.1%>	1521000 <113.1%>	1630000 <121.2%>	
廃棄量 の削減	混合廃棄物の削減	KG/1000本	7.92 <100.0%>	7.89 <99.7%>	7.70 <97.3%>	7.51 <94.9%>	
化学物質使用量の削減		環境目標の策定が難しいため環境目標の具体値は設定せず、 環境活動計画を策定し、推進します。					
グリーン購入の推進		ECOマーク商品の優先購入	可能なものは 全て実施する	可能なものは 全て実施する	可能なものは 全て実施する	可能なものは 全て実施する	
環境 貢献	環境推進会議		回/年	2回	2回	2回	2回
	EA強化週間		回/年	1回	1回	1回	1回
	6S運動	パトロール	隔月実施	隔月実施	隔月実施	隔月実施	隔月実施
		6S強化週間 (4月又は5月)	回/年	1回 (4月)	1回 (5月)	1回 (5月)	1回 (5月)

※ CO2排出量、エネルギー使用量等は、容器取扱本数1本あたりを原単位とする

IV 環境経営目標(菊川事業所)

中期目標は以下の通りとする。

【年度は前年9月から年度末8月まで】

項目		単位	[基準年] 2023年度 実績	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標	
CO2 排出量の削減	CO2 総排出量	kg-CO2	693,811 <100%>	693,592 <99.97%>	693,265 <99.92%>	692,762 <99.85%>	
	CO2 排出量削減	kg-CO2/t	163.56 <100%>	161.90 <98.99%>	160.22 <97.96%>	158.56 <96.94%>	
	電力 総使用量	kwh	1,233,583 <100%>	1,233,336 <99.98%>	1,232,966 <99.95%>	1,232,349 <99.90%>	
	電力 使用量削減	kwh/t	290.80 <100%>	287.89 <99.0%>	284.95 <98.0%>	282.07 <97.0%>	
	ガソリン 総使用量	L	2,000 <100%>	1,980 <99%>	1,940 <97%>	1,880 <94%>	
	ガソリン 使用量削減	L/t	0.47 <100%>	0.46 <97.87%>	0.45 <95.74%>	0.43 <91.49%>	
	LPG 総使用量	kg	13,023 <100%>	13,010 <99.9%>	12,997 <99.8%>	12,984 <99.7%>	
	LPG 使用量削減	kg/t	3.07 <100%>	3.04 <99.02%>	3.00 <97.72%>	2.97 <96.74%>	
省資源	上水 総使用量	m3	32,882 <100%>	32,849 <99.9%>	32,849 <99.9%>	32,849 <99.9%>	
	上水 使用量削減	m3/t	7.75 <100%>	7.64 <98.58%>	7.59 <97.94%>	7.52 <97.03%>	
廃棄物の削減	ラベル・汚泥・掃き寄せ 総排出量	kg	255,780 <100%>	255,703 <99.97%>	255,652 <99.95%>	255,601 <99.93%>	
	ラベル・汚泥・掃き寄せ 排出量の削減	kg/t	60.30 <100%>	59.69 <98.99%>	59.08 <97.98%>	58.50 <97.01%>	
受託廃棄物の環境配慮	原料ペール(PET)の処理量	t	4,926 <100%>	4,975 <101%>	5,025 <102%>	5,074 <103%>	
	再商品化率の向上	%	86.1 <100%>	86.1 <100%>	86.1 <100%>	86.1 <100%>	
	フレーク・ペレット生産量の増加	t	4,242 <100.0%>	4,284 <101%>	4,327 <102%>	4,369 <103%>	
グリーン購入の推進(ECOマーク商品の優先購入)		環境目標の策定が難しいため環境目標の具体値は設定せず、環境活動計画を策定し、推進します。					
環境貢献	6S運動	パトロール		毎月実施	隔月	隔月	隔月
		強化週間(5月)	回/年	-	1回/年	1回/年	1回/年
	社会貢献(工場見学)			通期受入	通期受入	通期受入	通期受入

V 2023年度環境経営計画(袋井事業所)

取組み目標			責任者	担当者	年間スケジュール(2022/9 ~ 2023/8)										
項目	活動項目	詳細			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
CO2排出量削減	電気使用量	1 始業前、休憩時の消灯	事務所	営業業務課長	各担当	←									→
		2 エアコンの温度設定(夏28℃/冬23℃)	事務所、食堂	営業業務課長	各担当	←									→
		3 離席時のPCスタンバイ設定	PC使用者	営業業務課長	使用者	←									→
		4 フォークリフトのムダな走行、アイドリングを無くす	リフト使用者	各班長	使用者	←									→
		5 休み時間の消灯	工場	各班長	各担当	←									→
		6 コンプレッサの効率的運用方法の確立	昼休み停止	洗浄班長	当番	←									→
		7 仕上げルームのエアコンフィルター定期清掃	定期化	仕上げ班長	当番	←									→
		8 仕上げルームの吸気扇フィルター定期清掃	定期化	仕上げ班長	仕分班長	←									→
		9 NG率削減による生産性向上	仕分け作業強化	各班長	各担当	←									→
	灯油使用量	1 乾燥時間の短縮	外気温に連動して調節	洗浄班長	当番	←									→
		2 再洗発生防止による無駄な作業の抑制	洗浄検査の強化	生産課長	洗浄班長	←									→
		3 洗浄各種温度管理の徹底による無駄な加温排除	品質との関連性も確認	洗浄班長	各担当	←									→
		4 剥離機の安定稼働	運用法確立	生産課長	各担当	←									→
		5 洗浄2・3号機の生産性向上	機械設定の追求	生産課長	洗浄班長	←									→
その他	1 洗浄設備の計画運用による効率稼働の推進	3ラインの効率的運用	生産課長	洗浄班長	←									→	
	2 エコドライブ推進(急発進・急加速の抑制、経済速度での走行)	トラック、営業車	各班長	使用者	←									→	
省資源	水使用量	1 濯ぎ排水循環利用の継続	内洗機稼働時	洗浄班長	各担当	←								→	
		2 設備の定期点検と予防保全の徹底	洗浄設備全体	保全担当	各担当	←								→	
		3 循環水の新ルート検討	検討、実施	生産課長	各担当	←								→	
製品・サービス活動の拡大	1 取扱い数量増加によるエネルギー単位消費量削減	新規開拓、既存増販	事業所長	営業業務課長	←								→		
廃棄物の削減	1 紙使用量削減(デ-タ化、両面コピ-、Nアップ等)	各項目の更なる推進	営業業務課	各担当	←									→	
	2 ストレッチフィルム削減のため、巻き方変更	無駄をなくす	物流係・仕上げ班長	各担当	←									→	
	3 会社支給品の個人管理推進	清潔・長持ち	各班長	各担当	←									→	
	4 廃液の自社内処理の推進	中和技術の確立	保全課長	保全担当	←									→	
化学物質使用量削減	1 メタルクリーナーの代替製品使用推進	トルエンフリー製品拡大	工場長	各担当	←								→		
グリーン購入の推進	1 エコマーク商品を優先的に購入する		営業業務課長	各担当	←								→		
社内啓蒙	環境推進会議	1 活動目標を決めて具体化、活動進捗管理	年2回	工場長	各担当	←								→	
	社員教育	2 社内勉強会の開催と外部講習会受講	社内2回、外部5回	工場長	各担当	←								→	
	EA21強化週間	3 全社で取組み、通年のエコ活動の助走期間とする。	年1回	工場長	各担当	←								→	
社外啓蒙	1 6S/トロールの実施	隔月	工場長	各担当	←								→		
全般	改善提案	従業員からの作業改善提案提出及び実施(年80件以上)	毎週審査	工場長	各担当	←								→	

V 2023年度環境経営計画(菊川事業所)

取組み目標			責任者	担当者	年間スケジュール(2022/9 ~ 2023/8)											
項目	活動項目	詳細			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
CO2排出量削減	電力使用量削減	1 稼働不要設備の停止	工場全体のこまめな電源OFF	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	
		2 チラー温度の適正值設置	冬季高温	生産課長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	
		3 乾燥機温度の適正值設定	夏季低温	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	
		4 エアコン・照明の適正使用	不在時の電源OFF	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	
		5 生産工程の綿密な組み立て	ベレタイザー2号機の適性運用	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	
		6 エアコンフィルター定期清掃	定期化	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	
		7 吸気扇フィルター定期清掃	定期化	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	
		8 LED照明の導入	水銀灯、蛍光灯のLED化	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	
ガソリン・LPG使用量削減	1 アイドリングストップの徹底	フォークリフト	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
	2 打合せのWEB化推進	営業車	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
	3 製品・材料置場管理による動線短縮	フォークリフト	生産課長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
	4 制限速度の遵守	フォークリフト	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
省資源	上水使用量削減	1 各工程水使用量の安定化	班ごと、時期ごとバラつき防止	生産課長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
		2 水の循環比率の向上	目標70%	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
		3 砂濾過装置性能維持	詰り防止、濾過材入れ替え等	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
		4 定期的な配管メンテナンス	ポンプ点検 高圧洗浄	生産課長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
廃棄物の削減	汚泥・ガレキ類排出量の削減	1 調達材料の品質向上	ラベル等の削減	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
		2 水処理設備の性能維持	水処理設備の定期メンテナンス	生産課長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
		3 含水率削減の徹底	汚泥の水切り	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
受託廃棄物の環境配慮	再商品化率の向上(生産性の向上)	1 材料管理の徹底	処理材料の品質平準化	生産課長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
		2 従業員の技能向上	後検査、ペレット	生産課長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
		3 調達材料の品質向上	材料の現地確認	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
		4 定期的な設備メンテナンス	設備能力の最適化	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
		5 調達材料の最適組合せ	A:B+C=4:3	生産課長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
グリーン購入の推進		1 ECOマーク商品を優先購入する	文房具、備品	部長	業務担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
環境貢献	6S運動	1 6Sハットロール実施	隔月実施	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
		2 強化週間	年1回	生産課長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
	社会貢献	3 工場見学の受入	申込みごと	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←		
		4 環境教育への貢献	小学生の社会見学の受け入れ検討	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←		

VI 2023年度環境経営目標の実績(袋井事業所)

環境活動の取組結果(期間:2022年9月~2023年8月)

項目		単位	[基準年] 2020年度 実績	2023年度 目標 <基準年比>	2023年度 実績 <目標比>	達成	
CO2 排出量 の削減	CO2 総排出量	kg-CO2	469,260 <100.0%>	459,405 <97.9%>	632,322 <137.6%>	×	
	CO2 排出削減	kg-CO2/本	0.300 <100.0%>	0.277 <92.4%>	0.367 <132.5%>	×	
	電力 総使用量	kwh	381,081 <100.0%>	375,364 <98.5%>	631,210 <168.2%>	×	
	電力 使用量削減	kwh/本	0.244 <100.0%>	0.227 <92.9%>	0.366 <161.2%>	×	
	灯油 総使用量	L	96,000 <100.0%>	94,000 <97.9%>	80,299 <85.4%>	◎	
	灯油 使用量削減	CC/本	61.5 <100.0%>	56.8 <92.4%>	46.6 <82.0%>	◎	
省資源	総排水量	L	17,514,560 <100.0%>	17,251,641 <98.5%>	46,096,210 <267.2%>	×	
	排水量削減	L/本	11.2 <100.0%>	10.4 <92.9%>	26.7 <256.7%>	×	
製品サービス 活動の 積極展開	容器取扱本数の増加	本	1,562,363 <100.0%>	1,656,104 <106.0%>	1,724,185 <104.1%>	○	
	リユース本数の増加	本	1,197,070 <100.0%>	1,259,317 <105.2%>	1,344,692 <106.8%>	○	
廃棄量の削減	混合廃棄物の削減	kg/1000本	10.7 <100.0%>	10.1 <94.4%>	7.9 <78.2%>	◎	
化学物質使用量の削減		環境目標の具体値は設定せず、環境活動計画を策定し、推進する				○	
グリーン購入の推進(ECOマーク商品の優先購入)			可能なものは 全て実施した	可能なものは 全て実施する	可能なものは 全て実施した	○	
環境 貢献	環境推進会議		回/年	2回	2回	2回	○
	社員教育(強化週間実施含む)		回/年	隔月実施 (奇数月)	3回	3回	○
	6S運動	パトロール	隔月実施	1回(5月)	隔月実施	隔月実施	○
		強化週間	回/年	1回(10月)	1回	1回 (4月)	○

※ 二酸化炭素排出量の算出には購入電力の排出係数0.521を使用した。

※ CO2排出量、エネルギー使用量等は、容器取扱本数1本あたりを原単位とする

※混合廃棄物実績 13,650kg(混合廃棄物)÷1,724,185本(取扱い本数)×1000

※ 達成 ◎ 目標達成率:10%以上

○ 目標達成率:10%未満

△ 目標未達率:5%未満

✖ 目標未達率:5%以上

VI 2023年度環境経営目標の実績(袋井事業所)

項目	目標・実績	評価
CO2排出量の削減	<u>CO2排出量</u> (kg-CO2/本) 目標:0.277 実績:0.367	・CO2排出総数は632,322kg-CO2。目標比137.6%、前年比138.7%。 ・第2工場稼働開始(2022年6月)により排出量全体が増加した。 ※第2工場分 166,136kg-CO2。(電力相当分)
電力使用量の削減	<u>電気使用量</u> (kwh/本) 目標:0.227 実績:0.366	・総使用量は631,210kwh。目標比168.2%、前年比165.6%。 ・第2工場稼働開始(2022年6月)により電気使用量が増加した。 ※第2工場分 318,879kwh。
灯油使用量の削減	<u>灯油使用量</u> (CC/本) 目標:56.8 実績:46.6	・総使用量は80,299L。目標比85.4%、前年比89.2%。 ・第2工場のボイラ用燃料はLPG。生産が2つの工場に分散した結果、灯油使用量は減少した。
排水量の削減 (地下水使用量)	<u>排水量</u> (リットル/本) 目標:10.4 実績:26.7	・総排水量は46,096㎡。目標比267.2%、前年比150.1%。 ・第2工場稼働開始(2022年6月)により排出量が増加した。
リユース本数	<u>リユース本数</u> (個/年) 目標:1,258,864 実績:1,344,692	・リユース本数は、目標比106.8%、前年比108.7%
混合廃棄物の削減	<u>単位排出量</u> (kg/1000本) 目標:10.1 実績:7.9	・単位排出量は、目標比78.2%、前年比56.8%。
化学物質使用量の削減	-	・メタルクリーナーから、トルエンフリーの除去剤であるファインソ ルブTHへの切替を実施した。
環境貢献	EA21強化週間 1回 6S強化週間 1回 6Sパトロール 6回	・環境会議、EA強化月間等によりEA推進への従業員意識向上と行動促進を行った。 ・6Sパトロールを通じ省資源、職場の整理整頓と安全向上を図った。 ・構内外一斉清掃(1回/週)を実施。構内美化とともに周辺道路清掃を行い周辺環境の美化を推進している。

VI 2023年度環境経営目標の実績(菊川事業所)

環境活動の取組結果(期間:2022年9月~2023年8月)

項目		単位	[基準年] 2020年度 実績	2023年度 目標 <基準年比>	2023年度 実績 <目標比>	達成	
CO2 排出量の削減	CO2 総排出量	kg-CO2	1,375,487 <100%>	1,374,149 <99.9%>	693,811 <50.5%>	◎	
	CO2 排出量削減	kg-CO2/t	292.94 <100%>	284.15 <97.0%>	163.56 <57.6%>	◎	
	電力 総使用量	kwh	2,534,409 <100%>	2,531,985 <99.9%>	1,233,583 <48.7%>	◎	
	電力 使用量削減	kwh/t	539.76 <100%>	523.57 <97%>	290.80 <55.5%>	◎	
	ガソリン 総使用量	L	1,339 <100%>	1,257 <93.9%>	2,000 <159.1%>	×	
	ガソリン 使用量削減	L/t	0.29 <100%>	0.26 <90%>	0.47 <180.8%>	×	
	LPG 総使用量	kg	12,240 <100%>	12,187 <99.6%>	13,023 <106.9%>	×	
	LPG 使用量削減	kg/t	2.61 <100%>	2.52 <97%>	3.07 <121.8%>	×	
省資源	上水 総使用量	m3	36,303 <100%>	36,270 <99.9%>	32,882 <90.7%>	◎	
	上水 使用量削減	m3/t	7.73 <100%>	7.50 <97%>	7.75 <103.3%>	×	
廃棄物の削減	ラベル・汚泥・掃き寄せ 総排出量	kg	289,070 <100%>	288,758 <99.89%>	255,780 <88.6%>	◎	
	ラベル・汚泥・掃き寄せ 排出量の削減	kg/t	61.56 <100%>	59.71 <97%>	60.3 <101.0%>	△	
受託廃棄物の 環境配慮	原料ペール(PET)の処理量	t	5,445 <100%>	5,610 <103%>	4,926 <87.8%>	×	
	再商品化率の向上	%	86.2 <100%>	86.2 <100%>	86.1 <99.9%>	△	
	フレーク・ペレット生産量の増加	%	4,695 <100%>	4,836 <103%>	4,242 <87.7%>	×	
グリーン購入の推進(ECOマーク商品の優先購入)			環境目標の策定が難しいため環境目標の具体値は設定せず、 環境活動計画を策定し、推進します。				
環境 貢献	6S運動	パトロール		毎月実施	隔月	隔月 実施	○
		強化週間 (5月)	回/年	-	1回/年	1回/年 実施	○
	社会貢献	工場見学	通期受入	通期受入	実績なし	×	

※ 二酸化炭素排出量の算出には購入電力の排出係数0.527を使用した。

※ CO2排出量、エネルギー使用量等は、フレーク・ペレット生産量1tあたりを原単位とする。

※ 達成 ◎ 目標達成率:10%以上

○ 目標達成率:10%未満

△ 目標未達率:5%未満

× 目標未達率:5%以上

VI 2023年度環境経営目標の実績(菊川事業所)

項目	目標・実績	評価
CO2排出量の削減	CO2排出量 (kg-CO2/t) 目標:284.15 実績:163.56	今期はペレット製品需要が減少し、フレーク製品の需要が増加する。電気を大量に使用するペレット化の工程減に伴い電気使用量が減少したことで、目標達成。
電力使用量の削減	電気使用量 (kwh/t) 目標:523.57 実績:290.80	今期はペレット製品需要が減少し、フレーク製品の需要が増加する。電気を大量に使用するペレット化の工程減に伴い、目標達成
ガソリン使用量の削減	ガソリン使用量 (L/t) 目標:0.26 実績:0.47	コロナにより公共交通機関の利用を控え営業車による出張を増加したためガソリン使用量が増加した。
LPG使用量の削減	LPG使用量 (kg/t) 目標:2.52 実績:3.07	原料及び製品の在庫量拡大に伴い、搬入・搬出にフォーク稼働が拡大した為目標未達となった。
上水使用量の削減	上水使用量 (m3/t) 目標:7.50 実績:7.75	洗浄不足による品質低下の傾向が見られた為、洗浄用の上水使用量を増やした。
廃棄物削減	産廃排出量 (kg/t) 目標:59.71 実績:60.30	ラベルの多い原料割合が増加したことにより、汚泥・ラベル等の排出量が増加となった。
受託廃棄物の環境配慮	再商品化率 (%) 目標:86.2 実績:86.1	ラベルの多い原材料が増加したことにより、廃棄量が増加し再商品化率が低下した。
グリーン購入の推進	事務用品 中心の購入	事務用品においては、意識的に環境負荷の少ない商品の購入が進んだ。今後も継続する。
環境貢献	6Sパトロール 6回 6S強化週間 1回 工場見学 0回	6S強化週間については定例化し各班で改善テーマを決め、最後までやりきることの意識付けができた。工場見学についてはコロナ禍により受入れをお断りした。

電力・灯油・LPG・水 使用量推移



VII 2023年度環境経営活動の評価(袋井事業所)

達成度：◎80%以上 ○50%以上 △50%以下

取組み目標			責任者	担当者	年間スケジュール(2022/9～2023/8)												評価
項目	活動項目	詳細			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
CO2排出量削減	電気使用量	1 始業前、休憩時の消灯	事務所	営業業務課長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎	
		2 エアコンの温度設定(夏28℃/冬23℃)	事務所、食堂	営業業務課長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎	
		3 離席時のPCスタンバイ設定	PC使用者	営業業務課長	使用者	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○	
		4 フォークリフトのムダな走行、アイドリングを無くす	リフト使用者	各班長	使用者	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎	
		5 休み時間の消灯	工場	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○	
		6 コンプレッサの効率的運用方法の確立	昼休み停止	洗浄班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○	
		7 仕上りルームのエアコンフィルター定期清掃	定期化	仕上班長	当番	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎	
		8 仕上りルームの吸気扇フィルター定期清掃	定期化	仕上班長	当番	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎	
		9 NG率削減による生産性向上	仕分け作業強化	物流係	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○	
	灯油使用量	1 乾燥時間の短縮	外気温に連動して調節	洗浄班長	洗浄班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎	
		2 再洗発生防止による無駄な作業の抑制	洗浄検査の強化	生産課長	洗浄班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	△	
		3 洗浄各種温度管理の徹底による無駄な加温排除	品質との関連性も確認	洗浄班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○	
		4 剥離機の安定稼働	運用法確立	生産課長	洗浄班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○	
		5 洗浄2・3号機の生産性向上	機械設定の追求	生産課長	洗浄班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○	
その他	1 洗浄設備の計画運用による効率稼働の推進	3ラインの効率的運用	生産課長	洗浄班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎		
	2 エコドライブ推進(急発進・急加速の抑制、経済速度での走行)	トラック、営業車	各班長	使用者	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎		
省資源	水使用量	1 濯ぎ排水循環利用の継続	内洗機稼働時	洗浄班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○		
		2 設備の定期点検と予防保全の徹底	洗浄設備全体	保全担当	洗浄班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎		
		3 循環水の新しいルート検討	検討、実施	生産課長	洗浄班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	△		
製品・サービス活動の拡大	取扱い数量増加によるエネルギー単消費量削減	新規開拓、既存増販	事業所長	営業業務課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○			
廃棄物の削減	1 紙使用量削減(データ化、両面コピー、Nアップ等)	各項目の更なる推進	営業業務課長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎			
	2 ストッチフィルム削減のため、巻き方変更	無駄をなくす	物流係・仕上班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎			
	3 会社支給品の個人管理推進	清潔・長持ち	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎			
	4 廃棄の自社内処理の推進	中和技術の確立	保全課長	保全担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎			
化学物質使用量削減	1 メタルクリーナーの代替製品使用推進	トルエンフリー製品拡大	工場長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎			
グリーン購入の推進	1 エコマーク商品を優先的に購入する		営業業務課長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○			
社内啓蒙	環境推進会議	1 活動目標を決めて具体化、活動進捗管理	年2回	工場長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	◎			
	社員教育	2 社内勉強会の開催と外部講習会受講	社内2回、外部5回	工場長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	○			
	EA21強化週間	3 全社で取組み、通年のエコ活動の助走期間とする。	年1回	工場長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	◎			
環境貢献	6S運動	1 6Sバトロールの実施	隔月	工場長	保全担当	←	←	←	←	←	←	←	←	◎			
全般	改善提案	1 従業員からの作業改善提案提出及び実施(年80件以上)	毎週審査	工場長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	◎			

VII 2023年度環境経営活動の評価(菊川事業所)

達成度 : ◎80%以上 ○50%以上 △50%以下

取組み目標			責任者	担当者	年間スケジュール(2022/9 ~ 2023/8)								評価				
項目	活動項目	詳細			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		5月	6月	7月	8月
CO2排出量削減	電力使用量削減	1 稼働不要設備の停止	工場全体のこまめな電源OFF	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎	
		2 チラー温度の適正值設置	冬季高温	生産課長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎
		3 乾燥機温度の適正值設定	夏季低温	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎
		4 エアコン・照明の適正使用	不在時の電源OFF	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎
		5 生産工程の綿密な組み立て	ペレタイザー2号機の適性運用	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎
		6 エアコンフィルター定期清掃	定期化	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○
		7 吸気扇フィルター定期清掃	定期化	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○
		8 LED照明の導入	水銀灯、蛍光灯のLED化	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○
ガソリン・LPG使用量削減		1 アイドリングストップの徹底	フォークリフト	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎	
		2 打合せのWEB化推進	営業車	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎	
		3 製品・材料置場管理による動線短縮	フォークリフト	生産課長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎	
		4 制限速度の遵守	フォークリフト	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎	
省資源	上水使用量削減	1 各工程水使用量の安定化	班ごと、時期ごとバラつき防止	生産課長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎	
		2 水の循環比率の向上	目標70%	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○	
		3 砂濾過装置性能維持	詰り防止、濾過材入れ替え等	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○	
		4 定期的な配管メンテナンス	ポンプ点検 高圧洗浄	生産課長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○	
廃棄物の削減	汚泥・ガレキ類排出量の削減	1 調達材料の品質向上	ラベル等の削減	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○		
		2 水処理設備の性能維持	水処理設備の定期メンテナンス	生産課長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎		
		3 含有率削減の徹底	汚泥の水切り	各班長	各担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎		
受託廃棄物の環境配慮	再商品化率の向上(生産性の向上)	1 材料管理の徹底	処理材料の品質平準化	生産課長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎		
		2 従業員の技能向上	後検査、ハレット	生産課長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎		
		3 調達材料の品質向上	材料の現地確認	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎		
		4 定期的な設備メンテナンス	設備能力の最適化	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎		
		5 調達材料の最適組合せ	A:B+C=4:3	生産課長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎		
グリーン購入の推進		1 ECOマーク商品を優先購入する	文房具、備品	部長	業務担当	←	←	←	←	←	←	←	←	←	○		
環境貢献	6S運動	1 6Sパトロール実施	隔月実施	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎		
		2 強化週間	年1回	生産課長	各班長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	◎		
	社会貢献	3 工場見学の受入	申込みごと	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	✖		
		4 環境教育への貢献	小学生の社会見学の受け入れ検討	部長	生産課長	←	←	←	←	←	←	←	←	←	✖		

VII 2024年度環境経営計画(袋井事業所)

項目	削減対象	目標値	活動項目	詳細	責任者	担当者	期限
CO2排出量削減	電気使用量	0.365 kWh/本	1 始業前、休憩時の消灯	事務所	各班長	各担当	通年
			2 エアコンの温度設定(夏28℃/冬23℃)	事務所、食堂	各班長	各担当	各シーズン中
			3 業務終了時、シャットダウン	PC使用者	各班長	使用者	通年
			4 電力のピークカット	デマンド管理	各班長	使用者	通年
			5 休み時間の消灯	工場	各班長	各担当	通年
			6 仕上げルームのエアコンフィルター定期清掃	定期化	仕上班長	当番	通年
			7 仕分けのNG率向上による生産効率向上	仕分け能力強化	物流係	各班長	通年
	灯油使用量	46.4 cc/本	1 乾燥の稼働回数と時間の短縮	外気温に連動して調節	工場長	第1課長	通年
			2 再洗発生防止による無駄な作業の抑制	洗浄検査の強化	工場長	第1課長	通年
			3 洗浄の温度設定(水温)の調節	品質との関連性も確認	第1課長	各担当	通年
			4 容器の水抜き技術の確立(個人差をなくす)	再乾燥の抑制	第1課長	各担当	通年
			5 洗浄2・3号機の時間当たり本数増	機械設定の追求	工場長	第1課長	通年
	LPG使用量	16.3 g/本	1 洗浄の温度設定(水温)の調節	外気温に連動して調節	第2班長	各担当	通年
			2 乾燥の温度設定(空気の熱交換)の調節	外気温に連動して調節	第2班長	各担当	通年
			3 容器洗浄機の時間当たり本数増	生産効率の追求	工場長	第2班長	通年
その他		1 洗浄設備の計画運用による効率稼働の推進	3ラインの効率的運用	工場長	各班長	通年	
		2 エコドライブ推進(急発進・急加速の抑制、経済速度での走行)	トラック、営業車	各班長	使用者	通年	
省資源	水使用量	26.7 L/本	1 濯ぎ排水循環利用の継続	内洗機稼働時	洗浄班長	洗浄班長	通年
			2 設備の定期点検と予防保全の徹底	洗浄設備全体	工場長	洗浄班長	通年
			3 角容器洗浄機のリンス水の有効利用	検討、実施	工場長	洗浄班長	通年
製品・サービス活動の拡大			取扱い数量増加によるエネルギー単位消費量削減	新規開拓、既存増販	事業所長	営業業務部長	通年
廃棄物の削減			1 紙使用量削減(デジタル化、両面コピー、Nアップ等)	各項目の更なる推進	営業業務部長	各担当	通年
			2 廃棄物(主に木パレ)の資源化促進	リサイクル促進	各班長	各担当	通年
			3 廃液の自社内処理の推進	中和技術の確立	工場長	保全担当	通年
化学物質使用量削減			1 メタルクリーナーの代替製品使用推進	トルエンフリー製品拡大	工場長	保全課	通年
グリーン購入の推進			1 エコマーク商品を優先的に購入する		工場長	各担当	通年
社内啓蒙	環境推進会議	1 活動目標を決めて具体化、活動進捗管理	年2回	事業所長	工場長	上期、下期	
	社員教育	2 社内勉強会の開催と外部講習会受講	社内2回、外部5回	事業所長	工場長	通年	
	EA21強化週間	3 全社で取組み、通年の環境活動の啓蒙期間とする。	年1回	事業所長	工場長	11/13~11/24	
環境貢献	6S運動	1 6Sパトロールの実施	隔月	工場長	保全課	通年	
全般	改善提案	1 従業員からの作業改善提案提出及び実施(年80件以上)	都度審査	工場長	各班長	通年	

VII 2024年度環境経営計画(菊川事業所)

項目	削減対象	目標値	活動項目	詳細	責任者	担当者	期限
CO2 排出量削減	電力 使用量	367.96 (kwh/t)	1 稼働不要設備の停止	工場全体のこまめな電源OFF	各班長	各担当	通年
			2 チラー温度の適正值設置	冬季高温	生産課長	各班長	通年
			3 乾燥機温度の適正值設定	夏季低温	各班長	各担当	通年
			4 エアコン・照明の適正使用	不在時の電源off	各班長	各担当	通年
			5 生産工程の綿密な組み立て	ヘルタイザ-2号機の適正運用	所長	生産課長	通年
			6 エアコンフィルター定期清掃	定期化	各班長	各担当	通年
			7 吸気扇フィルター定期清掃	定期化	各班長	各担当	通年
			8 LED照明の導入	水銀灯、蛍光灯の残りをLED化	所長	生産課長	通年
	LPG 使用量	ガソリン 0.31 (L/t) LPG 2.68 (kg/t)	1 アイドリングストップの徹底	フォークリフト	各班長	各担当	通年
			2 打合せのWEB化推進	営業車	所長	生産課長	通年
			3 製品・材料置場管理による動線短縮	フォークリフト	生産課長	各担当	通年
			4 制限速度の遵守	フォークリフト	各班長	各担当	通年
省資源	上水 使用量	7.85 (m3/t)	1 各工程水使用量の効率化	班ごと、時期ごと最適調整	生産課長	各班長	通年
			2 水の循環比率の向上	目標70%	所長	生産課長	通年
			3 砂濾過装置性能維持	詰まり防止、濾過材入れ替え等	所長	生産課長	通年
			4 定期的な配管メンテナンス	ポンプ点検 高圧洗浄	生産課長	各班長	通年
廃棄物の削減	ラベル・汚泥・掃き寄せ 排出量	70.52 (kg/t)	1 調達材料の品質向上	ラベル等の削減	所長	生産課長	入札ごと
			2 水処理設備の性能維持	水処理設備の定期メンテナンス	生産課長	各班長	通年
			3 含水率削減の徹底	汚泥の水切り	各班長	各担当	通年
受託廃棄物の環境配慮	再商品化率の向上 (生産性の向上)	86.5 (%)	1 材料管理の徹底	処理材料の品質向上	生産課長	各班長	通年
			2 従業員の技能向上	後検査、ヘルメット	生産課長	各班長	通年
			3 調達材料の品質向上	材料の現地確認	所長	生産課長	入札ごと
			4 定期的な設備メンテナンス	設備能力の最適化	所長	生産課長	通年
			5 調達材料の最適組合せ	A:B+C=4:3	生産課長	各班長	通年
グリーン購入の推進			1 ECOマーク商品を優先購入する	文房具、備品	所長	業務担当	通年
貢献環境	6S運動		1 6Sパトロール実施	隔月実施	所長	生産課長	通年
			2 強化週間	年1回	生産課長	各班長	5月
	社会貢献		1 工場見学の受入	申込みごと	所長	生産課長	通年
			2 環境教育への貢献	小学生の社会見学の受入検討	所長	生産課長	通年

VIII 環境関連法規への違反・訴訟の有無(袋井事業所)

1. 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を2023年8月31日に確認した結果、違反はありませんでした。

法規・条例・規制	適用内容又は規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	保管施設の表示と保管基準の遵守	表示板	○
	収集運搬業者及び処分業者との委託契約、許可更新の確認、現地確認	契約書の締結ほか	○
	マニフェストの管理	A票、B2票、D票、E票の管理	○
	マニフェストの写しの保管	5年間	○
	委託契約書の保管	保管ファイルへ	○
	マニフェスト交付等状況の報告	期限内に報告実施	○
	産廃管理責任者の選任		○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	マニフェストの期限内返却	期間内に返却	○
	処分状況の報告	期限内に報告実施	○
	収集運搬業者と排出業者との受託契約	契約書の締結	○
	産業廃棄物処理責任者の設置	保管場所に表示	○
	変更届の期限内提出(10日以内)	代表者変更	○
	マニフェストの期限内返却	期間内受託なし	○
袋井市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	排出業者との受託契約	契約書の締結	○
	変更届の期限内提出	代表者変更	○
	マニフェストの期限内返却	期間内受託なし	○
静岡県生活環境の保全等に関する条例	適用される排水規準を遵守	袋井市の基準による	○
	浄化槽の排水を測定しその結果を記録する	週1回	○
	排水の第3者機関による定期検査	月1回	○
浄化槽法	定期保守点検	点検 4回/年	○
	定期清掃	清掃 1回/年	○
	指定検査機関による定期水質検査	検査 1回/年	○
	設置・変更・廃止届出	随時	○
消防法	指定可燃物の届出	業者点検(1回/半年)	○
	消防用設備の設置・点検	消防署検査(1回/3年) 消防訓練(1回/年)	
騒音規制法 振動規制法	特定施設の設置届け出(済)、規制法の遵守	コンプレッサ-(37kW×2基) 但し、破碎機は届出 不要(袋井市)	○
PRTR法	化学物質排出移動量届出制度	年間取扱量要件に 満たない(年間1t以上)	○
フロン排出抑制法	冷凍空調機器:全ての第一種特定機器が対象	企業・法人の管理者による 簡易点検(1回以上/3ヶ月)	○

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去よりありません。

2023年8月31日
 鈴与エコプロダクツ株式会社
 環境管理責任者 根木 浩行

VIII 環境関連法規への違反・訴訟の有無(菊川事業所)

1. 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を2023年8月31日に確認した結果、違反はありませんでした。

法規・条例・規制	適用内容又は規制基準値	備考	遵守状況	
廃棄物の処理法及び清掃に関する法律 静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	(処理) 一般廃棄物	一般廃棄物処理施設設置許可	許可事業者	○
		一般廃棄物処理業許可	許可事業者	○
		飛散、流出、悪臭、騒音の防止		○
		帳簿の記載、保存	操業管理表	○
	(排出) 産業廃棄物	産業廃棄物管理責任者の選任		○
		産業廃棄物処理委託先への現地確認	現地確認(委託前及び1回/年)	○
		産業廃棄物委託業者との契約	契約書締結、保存	○
		マニフェストの管理	A、B2、D、Eの管理、5年保存	○
静岡県生活環境の保全に関する条例	マニフェスト交付等状況の報告	報告書提出	○	
	保管基準の遵守		—	
	60cm×60cm以上の表示	表示板	○	
消防法	飛散、浸透防止、衛生管理		○	
	特定施設の届出(済)	集じん施設	○	
消防法	規制基準の遵守	基準の遵守	○	
	指定可燃物の届出	新規・変更	○	
水質汚濁防止法	消防設備の設置・点検	消防署検査 1回/3年	○	
	第3条第3項に基づく計画書を旧小笠町(現菊川市)に申請	BODとSSについては毎月外部機関にて検査、それ以外は年1回検査実施	○	
浄化槽法	定期保守点検	点検 4回/年	○	
	定期清掃	清掃 1回/年	○	
	指定検査機関による定期水質検査	検査 1回/年	○	
	設置・変更・廃止届出	随時	○	
容器包装リサイクル法	当該法の定める再生処理業者として関連法規を遵守した容器包装のリサイクルを行う	登録 1回/年 入札 2回/年	○	
毒物及び劇物取締法	苛性ソーダ(25%水溶液)	保管管理	○	
フロン排出抑制法	冷凍空調機器:全ての第一種特定機器が対象 ①自身での「簡易点検(3ヶ月に1回以上)」実施 ②冷凍冷蔵機器(7.5kW以上)1年に1回以上	①企業・法人の管理者が確認 ②有資格者による定期点検実施	○	

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟は過去よりありません。

2023年8月31日
鈴与エコプロダクツ株式会社
環境管理担当者 齋藤 博俊

Ⅸ 環境上の緊急事態への準備及び対応(袋井事業所)

地震等天災によって引き起こされると考えられる環境への緊急事態につき、具体的に以下の2つのケースを想定し一次対応策とする。

想定1. 廃水処理施設の一部崩壊による未処理廃水の外部流出

【対策】

- ① 当社敷地北東部の貯水池にて未処理廃水の流出を確認。
- ② 直ちに水の使用を止める。
- ③ 貯水池出口を備え付けの鉄板で塞ぐ。
- ④ 廃水処理施設修理、未処理廃水の対応を行う。

想定2. 灯油予備タンク(2ヶ所)倒壊による灯油流出

【対策】

- ① 直ちに配管バルブを閉める。
- ② タンクからの流出を止める。(タンクを起こす、流出口を塞ぐ等)
- ③ 漏れた灯油をウエスで拭き取る。
- ④ 残った灯油を備え付けの吸着剤で吸い取る。
- ⑤ タンク修理等の対応を行う。

※予備タンク容量

ボイラ室 : 150L

乾燥パナ-室 : 190L

Ⅸ 環境上の緊急事態への準備及び対応(菊川事業所)

設備故障や、作業ミス、及び地震等天災によって引き起こされる環境へ影響を与える緊急事態に対し、対応のための手順を確立し、維持していく。

1. 定義

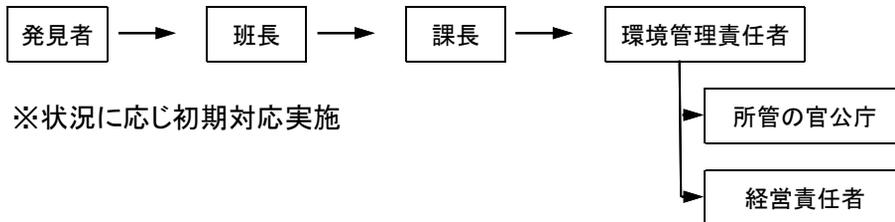
(1) 緊急事態

設備故障や作業ミス及び地震火災等により工場内外に環境影響が発生する恐れのある事態あるいは環境影響が発生した状態

(2) 緊急事態の想定例

大気汚染物質、水質汚濁物質、騒音、振動、悪臭物質などの拡散、漏洩、流出など、また廃ペットボトルの火災

2. 緊急時の連絡体制



3. 緊急時の対応

(1) 薬品(苛性ソーダ流出)想定

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| ① 流出発見 | 初期対応(バルブ閉塞)、責任者連絡 |
| ② 状況確認・指示 | 現地確認(稼動停止、放流口封鎖、吸着材敷設指示・実行) |
| | PH計測(漏洩箇所、調整池、外部水路) |
| ③ 関係先への連絡 | 所轄の官公庁、団体、経営責任者に連絡 |
| ④ 中和作業 | 酸性薬剤による中和作業 |
| ⑤ 正常確認 | すべての機器、数値、状態に以上がないことを確認 |

【対策】・タンクの転倒防止処置

- ・日常チェックの実施
- ・吸着マット、ゴーグル、ゴム手袋、長靴の準備

(2) 廃ペットボトル火災想定

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| ① 火災発見 | 初期対応(消火器による消火、延焼防止処置) |
| ② 責任者連絡 | 状況により消防署通報、負傷者、被災状況の確認 |
| ③ 関係先への連絡 | 所轄の官公庁、団体、経営責任者に連絡 |
| ④ 状況により消火活動、延焼防止処置、避難を指示、実行 | |

【対策】・置場の整理・整頓

- ・炎センサーの設置
- ・消火器の確認

X 代表者による評価と今後の取り組み

環境経営レポートのリリースは10回目となる今年度EA21の活動は、両事業所とも環境活動計画を全員で取り組み、社員の環境負荷低減に対する意識向上を図りました。

結果におきましては、袋井事業所は第2工場稼働(2022年6月)によるエネルギー使用量増が事業活動を上回った事で原単位排出量が増加致しましたが、菊川事業所では事業活動が弱含みの中、エネルギー使用量削減が奏功し原単位排出量は計画以上の抑制を実現致しました。

事業活動の拡大を進めつつ、地球環境へ負荷低減を推進するには、より一層各社員の意識を高めEA21推進を身近にする働き掛けが不可欠と思料します。

これを踏まえ、変化に対応するための下記の指示を行います。

記

中堅社員を中心にした環境推進委員を任命し、各職場での環境活動を充実を図る。

- ・原単位CO2排出量(KPI)の定期的共有及びレビュー
- ・次月見込及び対策の協議（生産・営業の見通しを基に個々の対策を決める）

以上

アフターコロナの環境下、取り巻く環境は依然として厳しい状況が継続すると想定されます。

一方で3Rの中でリユース・リサイクル事業を生業としている弊社は、お取引先様のSDGs推進を具現化させる重要な社会的使命を担う立場と捉えております。

経営者として会社を発展させると共に持続可能な社会に貢献するため、当社自身のCO2排出削減に対して弛まず改善活動を継続し名実相伴う環境会社を目指します。

2024年1月 23日

鈴与エコプロダクツ株式会社

代表取締役 望月 英伸